

(公社) いわき青年会議所 室長 意見書

出向特別室 室長 馬上 順胤

1 いわき J C は創立以来、市民や各関係機関・団体と協働し、多くの学びを得ながらいわ
2 きにある様々な問題に取り組み、改善に向けた運動を展開してきました。そして、これか
3 らも日本各地にいる約 3 万 5 千人の同志と共に多くの学びと情報を共有し、さらなる地域
4 の発展に寄与するべく先駆的に行動していく必要があります。そのためには、時代の潮流
5 を敏感に感じ取り、知識と志を持った人財を育成する環境を創出していく必要があります。

6 まずは、いわき J C のメンバーが地域に対して能動的且つ創造的に運動を展開していく
7 ために、日本 J C や各協議会の情報を細やかに集約できる体制を構築し、随時 L O M と情
8 報を共有し日本 J C や各協議会の理念や運動の認識を図り、日本 J C や各協議会がより身
9 近に感じる環境を創造します。そして、出向者がいわき J C の矜持を携えて活発に活動
10 行えるようにするために、出向者の担いや動向を L O M 内へ広く明確に発信し、理解を促
11 し、メンバーが一丸となってサポートできる体制を整えることで、出向者自身のモチベー
12 ションを保ち、より参画意識を醸成し意義を持った出向活動へと導きます。さらに、メン
13 バーの J C 活動を広範化し、多くの人脈から学びを得て、多角的な視野を持って運動を展
14 開していける人財を育成するために、日本 J C や各協議会の事業に参画する意義を伝え、
15 L O M の共通認識としてメンバーの常識となるような環境の基盤創りに寄与します。また、
16 L O M 内の事業の活性化を図るために、L O M 内での各々の役割を確認し鼓舞し合いなが
17 ら懇親を深め、参画意識を喚起することで L O M が展開する運動の底上げに尽力します。

18 いわき J C が他地域の運動を知識として習得できるスケールメリットを活用し、今後の
19 地域の様々な変化に伴い発生する問題に対し、豊かな想像力で生まれる創造力を持って柔
20 軟な運動展開で市民を牽引し、共に新たな一歩を踏み出せるたくましい組織に進化します。

21 <職務分掌>

- 22 1. 日本 J C、各協議会との連絡調整
- 23 2. 日本 J C、各協議会出向者へのサポート
- 24 3. 横断的な各グループへのサポート
- 25